



## 2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月7日

上場会社名 ネボン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7985 URL <http://www.nepon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼代表執行役員 (氏名) 福田 晴久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 捧 渡

TEL 03-3409-3159

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

2021年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,257	11.9	246	2.8	258	7.6	168	11.3
2020年3月期	8,234	1.4	253	86.2	240	88.8	189	260.4

(注) 包括利益 2021年3月期 173百万円 (24.9%) 2020年3月期 230百万円 (510.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	140.31		6.8	3.8	3.4
2020年3月期	158.11		8.3	3.5	3.1

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	6,544	2,526	38.6	2,109.82
2020年3月期	6,910	2,389	34.6	1,995.28

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,526百万円 2020年3月期 2,389百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	82	114	13	516
2020年3月期	697	143	404	535

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		30.00	30.00	35	19.0	1.6
2021年3月期		0.00		30.00	30.00	35	21.4	1.5
2022年3月期(予想)		0.00		30.00	30.00			

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,100	4.4	130		130		100		83.51
通期	7,800	7.5	240	2.6	240	7.3	150	10.7	125.26

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	1,202,848 株	2020年3月期	1,202,848 株
期末自己株式数	2021年3月期	5,395 株	2020年3月期	5,344 株
期中平均株式数	2021年3月期	1,197,495 株	2020年3月期	1,197,546 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	7,199	12.4	240	5.4	253	5.0	162	14.5
2020年3月期	8,217	1.6	253	95.2	241	98.5	190	294.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	135.98	
2020年3月期	158.94	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	6,532	2,491	38.1	2,080.69
2020年3月期	6,897	2,354	34.1	1,966.37

(参考) 自己資本 2021年3月期 2,491百万円 2020年3月期 2,354百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の政策により個人消費活動の持ち直しの動きが一時期はみられたものの、その後、新型コロナウイルス感染症の再拡大傾向が強まり、2021年4月には3回目の緊急事態宣言が発令されるなど、先行きについては依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

このような経営環境の中で、当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ)は『お客様が求める環境作りのために私たち(社員)はお客様の声を起点に農と住の明日を創造する会社を目指します』を事業骨子とし、引き続き販売力の強化や新製品の開発に取り組んでまいりました。

当社グループが主力としております熱機器事業の農用機器は、コロナ禍による営業活動の制約や先行き懸念による個人農家の設備投資抑制に加えて、前第1四半期における施設園芸用暖房大型工事の完工集中及び前第2四半期における消費税引上前の駆け込み需要等の前期決算特有の増収要因が一巡したこと等により、売上高は前年より大幅に減少いたしました。

その結果、総売上高は72億5千7百万円(前年同期比11.9%減)となりました。

損益面においては、コロナ禍における営業活動の制約に伴う活動費等の減少や研究開発投資の一部先送りにより販売費及び一般管理費が大きく減少しましたが、営業利益は2億4千6百万円(前年同期比2.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1億6千8百万円(前年同期比11.3%減)と、前年同期を下回る結果となりました。なお、経常利益は為替の影響により2億5千8百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

当連結会計年度のセグメント別の業績は、以下のとおりとなります。

#### [熱機器事業]

当社グループが主力としております熱機器事業の農用機器は、コロナ禍による営業活動の制約や先行き懸念による個人農家の設備投資抑制に加えて、前第1四半期における施設園芸用暖房大型工事の完工集中及び前第2四半期における消費税引上前の駆け込み需要等の前期決算特有の増収要因が一巡したこと等により、熱機器事業の売上高は67億2千7百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

#### [衛生機器事業]

衛生機器事業においては、業務用トイレ入替の大規模工事が第4四半期に完工したこと等により、売上高は4億9千4百万円(前年同期比2.2%増)となりました。

#### [その他事業]

その他事業においては、農産物販売の増加等により売上高は3千4百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### [資産]

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ、売上債権が2億1千8百万円、棚卸資産が9千6百万円減少したこと等により、3億5千1百万円の減少となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、無形固定資産が3千万円増加しましたが、有形固定資産が2千4百万円、投資その他の資産が2千1百万円減少したこと等により、1千5百万円の減少となりました。

#### [負債]

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ、短期借入金が増加しましたが、仕入債務が2億4千1百万円、未払法人税等が1億5千7百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等が8千8百万円減少したこと等により、3億3千5百万円の減少となりました。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、長期借入金が1億6百万円、役員退職慰労引当金が5千5百万円減少したこと等により1億6千7百万円の減少となりました。

#### [純資産]

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ、親会社株主に帰属する当期純利益を1億6千8百万円計上したこと等により、1億3千7百万円の増加となりました。

以上の結果、前連結会計年度末に比べ、総資産は3億6千6百万円減少し、65億4千4百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度のキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、8千2百万円のプラス（前連結会計年度は6億9千7百万円のプラス）となりました。

その主な要因は税金等調整前当期純利益2億5千5百万円、売上債権の減少2億1千8百万円、仕入債務の減少2億4千万円、法人税等の支払額1億8千4百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億1千4百万円のマイナス（前連結会計年度は1億4千3百万円のマイナス）となりました。

その主な要因は、有形固定資産の取得による支出6千3百万円、無形固定資産の取得による支出6千2百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1千3百万円のプラス（前連結会計年度は4億4百万円のマイナス）となりました。

その主な要因は、借入金の純増による1億2千3百万円のプラス、社債の純減による5千万円のマイナス、配当金の支払による3千5百万円のマイナスであります。

この結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末における残高は、5億1千6百万円となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しについては、世界的な新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の経済情勢は予断を許さない状況が続くと予想される一方で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気の緩やかな持ち直しも見込まれています。

このような状況の中で、お客様を第一に考えた新製品の開発や国内及び近隣諸国を含めた販売戦略の拡大や収益の向上に取り組む所存であります。

翌連結会計年度の業績見通しとしては、売上高78億円、営業利益2億4千万円、経常利益2億4千万円、親会社株主に帰属する当期純利益1億5千万円を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、予測不能な経済環境においても、将来の事業展開に向けて内部留保充実による企業体質の強化を図りつつ、安定的な配当水準も維持していくことを基本方針としています。

また、当社は、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

以上の基本方針に基づき、当期の配当金につきましては、配当金30円としております。

次期につきましては、1株当たり30円の配当を予定しております。

なお、当社の剰余金の配当決定機関は、中間配当については取締役会、期末配当については株主総会であります。

中間配当につきましては「取締役会の決議により、毎年9月30日を基準として中間配当を行うことができる」旨を定款で定めております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後については、国内企業の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、同基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	608,979	589,055
受取手形及び売掛金	2,932,978	2,714,417
商品及び製品	388,692	314,330
仕掛品	144,324	136,413
原材料及び貯蔵品	774,167	759,710
その他	75,887	59,627
貸倒引当金	△616	△287
流動資産合計	4,924,414	4,573,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	697,533	675,665
機械装置及び運搬具(純額)	111,617	106,653
土地	224,401	224,401
リース資産(純額)	45,392	22,692
建設仮勘定	-	29,751
その他(純額)	96,322	91,401
有形固定資産合計	1,175,268	1,150,566
無形固定資産		
77,879		108,506
投資その他の資産		
投資有価証券	82,710	102,693
長期貸付金	15,460	18,009
繰延税金資産	440,771	389,527
退職給付に係る資産	47,597	69,665
その他	154,182	141,073
貸倒引当金	△7,870	△9,122
投資その他の資産合計	732,851	711,846
固定資産合計	1,985,999	1,970,918
資産合計	6,910,413	6,544,185

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,134,698	893,137
短期借入金	450,000	700,000
1年内償還予定の社債	50,000	-
1年内返済予定の長期借入金	430,183	409,668
リース債務	23,951	22,118
未払法人税等	157,469	-
賞与引当金	133,792	102,306
製品保証引当金	29,376	12,046
その他	337,866	272,326
流動負債合計	2,747,338	2,411,602
固定負債		
長期借入金	723,635	617,279
リース債務	23,940	1,822
役員退職慰労引当金	95,290	39,320
退職給付に係る負債	905,465	922,356
資産除去債務	14,080	14,080
その他	11,311	11,311
固定負債合計	1,773,723	1,606,170
負債合計	4,521,061	4,017,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	601,424	601,424
資本剰余金	480,463	480,463
利益剰余金	1,261,966	1,394,058
自己株式	△8,893	△8,965
株主資本合計	2,334,961	2,466,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,906	22,865
為替換算調整勘定	3,139	△7,353
退職給付に係る調整累計額	38,345	43,921
その他の包括利益累計額合計	54,391	59,433
純資産合計	2,389,352	2,526,413
負債純資産合計	6,910,413	6,544,185

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,234,370	7,257,550
売上原価	5,296,525	4,574,926
売上総利益	2,937,844	2,682,624
販売費及び一般管理費	2,684,387	2,436,212
営業利益	253,457	246,411
営業外収益		
受取利息	921	940
受取配当金	2,957	2,909
受取地代家賃	8,400	8,400
補助金収入	1,909	-
受取補償金	-	8,382
為替差益	-	4,480
その他	3,236	6,016
営業外収益合計	17,425	31,127
営業外費用		
支払利息	18,798	17,062
為替差損	8,007	-
その他	3,410	1,478
営業外費用合計	30,216	18,541
経常利益	240,666	258,998
特別利益		
固定資産売却益	-	561
受取保険金	70,256	-
特別利益合計	70,256	561
特別損失		
投資有価証券評価損	16,955	-
固定資産除却損	3,346	4,405
固定資産圧縮損	7,104	-
特別損失合計	27,407	4,405
税金等調整前当期純利益	283,515	255,154
法人税、住民税及び事業税	176,084	48,378
法人税等調整額	△81,908	38,758
法人税等合計	94,175	87,137
当期純利益	189,339	168,016
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	189,339	168,016



(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	189,339	168,016
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,026	9,958
為替換算調整勘定	7,810	△10,492
退職給付に係る調整額	24,203	5,575
その他の包括利益合計	41,040	5,041
包括利益	230,380	173,058
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	230,380	173,058
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	601,424	480,463	1,108,553	△8,813	2,181,628
当期変動額					
剰余金の配当			△35,926		△35,926
親会社株主に帰属する当期純利益			189,339		189,339
自己株式の取得				△80	△80
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	153,413	△80	153,333
当期末残高	601,424	480,463	1,261,966	△8,893	2,334,961

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,879	△4,670	14,142	13,351	—	2,194,979
当期変動額						
剰余金の配当						△35,926
親会社株主に帰属する当期純利益						189,339
自己株式の取得						△80
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,026	7,810	24,203	41,040		41,040
当期変動額合計	9,026	7,810	24,203	41,040	—	194,373
当期末残高	12,906	3,139	38,345	54,391	—	2,389,352

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	601,424	480,463	1,261,966	△8,893	2,334,961
当期変動額					
剰余金の配当			△35,925		△35,925
親会社株主に帰属する当期純利益			168,016		168,016
自己株式の取得				△72	△72
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	132,091	△72	132,019
当期末残高	601,424	480,463	1,394,058	△8,965	2,466,980

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	12,906	3,139	38,345	54,391	—	2,389,352
当期変動額						
剰余金の配当						△35,925
親会社株主に帰属する当期純利益						168,016
自己株式の取得						△72
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	9,958	△10,492	5,575	5,041		5,041
当期変動額合計	9,958	△10,492	5,575	5,041	—	137,060
当期末残高	22,865	△7,353	43,921	59,433	—	2,526,413

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	283,515	255,154
減価償却費	179,507	181,543
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22,234	8,758
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	4,031	△5,826
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,030	△55,970
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,763	△31,486
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,096	922
受取利息及び受取配当金	△3,879	△3,849
受取地代家賃	△8,400	△8,400
補助金収入	△1,909	-
支払利息	18,798	17,062
固定資産売却益	-	△561
固定資産除却損	3,346	4,405
投資有価証券評価損	16,955	-
受取保険金	△70,256	-
固定資産圧縮損	7,104	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△39,282	218,241
たな卸資産の増減額 (△は増加)	218,862	95,877
仕入債務の増減額 (△は減少)	△83,777	△240,843
その他	195,045	△155,340
小計	761,787	279,687
利息及び配当金の受取額	3,899	3,855
利息の支払額	△20,197	△17,081
法人税等の支払額	△47,731	△184,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	697,758	82,372
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△130,956	△63,978
有形固定資産の売却による収入	-	2,076
無形固定資産の取得による支出	△11,097	△62,427
保険積立金の解約による収入	-	16,185
保険積立金の保険契約に基づく支出	△1,283	△1,283
その他	37	△5,173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,301	△114,601
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,200,000	800,000
短期借入金の返済による支出	△1,350,000	△550,000
長期借入れによる収入	400,000	350,000
長期借入金の返済による支出	△452,349	△476,871
社債の償還による支出	△140,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△80	△72
配当金の支払額	△35,926	△35,710
リース債務の返済による支出	△23,875	△23,951
その他	△2,220	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△404,452	13,002
現金及び現金同等物に係る換算差額	636	△697
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	150,641	△19,924
現金及び現金同等物の期首残高	385,337	535,979
現金及び現金同等物の期末残高	535,979	516,055

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、厚木事業所に製品・サービス別の事業本部を置き、事業本部は、取り扱う製品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「熱機器」、「衛生機器」の2つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「熱機器」は、施設園芸用温風暖房機及び施設園芸用ヒートポンプ、ビル・工場用温風暖房機等、「衛生機器」は、泡洗式簡易水洗便器及び水洗式簡易水洗便器等を生産しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	熱機器	衛生機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,721,260	484,396	8,205,656	28,713	8,234,370
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	7,721,260	484,396	8,205,656	28,713	8,234,370
セグメント利益又は損失 (△)	1,318,779	95,829	1,414,608	△21,730	1,392,877
セグメント資産	4,075,789	305,421	4,381,210	6,016	4,387,227
その他の項目					
減価償却費	126,358	8,733	135,092	437	135,529
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	27,442	-	27,442	-	27,442

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農産物販売及び搬送機器サービス等が含まれております。

当連結会計年度（自2020年4月1日 至2021年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	熱機器	衛生機器	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,727,939	494,982	7,222,922	34,628	7,257,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,727,939	494,982	7,222,922	34,628	7,257,550
セグメント利益又は損失 (△)	1,176,744	97,288	1,274,032	△16,874	1,257,157
セグメント資産	3,697,931	362,332	4,060,264	4,924	4,065,188
その他の項目					
減価償却費	128,570	9,733	138,303	536	138,840
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	55,433	—	55,433	—	55,433

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、農産物販売及び搬送機器サービス等が含まれております。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,205,656	7,222,922
「その他」の区分の売上高	28,713	34,628
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	8,234,370	7,257,550

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,414,608	1,274,032
「その他」の区分の損失(△)	△21,730	△16,874
セグメント間取引消去	—	—
全社費用(注)	△1,139,420	△1,010,745
連結財務諸表の営業利益	253,457	246,411

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	4,381,210	4,060,264
「その他」の区分の資産	6,016	4,924
セグメント間取引消去	—	—
全社資産(注)	2,523,186	2,478,996
連結財務諸表の資産	6,910,413	6,544,185

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)、管理部門に係る資産及び各セグメントに配分できない資産であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	135,092	138,303	437	536	43,978	42,702	179,507	181,543
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	27,442	55,433	—	—	98,337	137,954	125,779	193,388

(注) 調整額は、主に管理部門に係る資産及び各セグメントに配分できない資産に係るものであります。

## 【関連情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
佐藤商事(株)	1,606,240	熱機器事業、衛生機器事業及びその他事業

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
佐藤商事(株)	1,263,089	熱機器事業、衛生機器事業及びその他事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。



## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,995円28銭	2,109円82銭
1株当たり当期純利益金額	158円11銭	140円31銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	189,339	168,016
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	189,339	168,016
普通株式の期中平均株式数(株)	1,197,546	1,197,495

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。